

# ウチヤマタイムズ

発行日：平成28年7月20日／編集：岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里／監修：内山文治・吉岡信之  
発行所：(株)ウチヤマホールディングス〒802-0044北九州市小倉北区熊本2丁目10-10／電話：093-551-0002

2016

UCHIYAMA HOLDINGS  
ウチヤマホールディングス  
グループ  
東証一部上場  
(証券コード:6059)

さわやか

発行日：平成28年7月20日／編集：岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里／監修：内山文治・吉岡信之  
発行所：(株)ウチヤマホールディングス〒802-0044北九州市小倉北区熊本2丁目10-10／電話：093-551-0002

小学一年生から高校三年生までを対象とした、定員十名の事業所です。「生きる力を身に付ける」をテーマに、生活スキルやソーシャルスキル、基礎学習について、一人ひとりにあつた方法で、楽しく学べる療育を提供しています。一人ひとりの認知特性や心理特性を把握できる専門性のある講師たちがいるため、勉強が苦手なお子さまや、お友達との関わりが苦手なお子さま、自閉症、ダウン症、LD、ADHD、広汎性発達障害などの診断を受けているお子さまも安心して通っていたらることができます。

伊藤真美センター長よりご挨拶

室を改装したもので、豊かな自然に囲まれた敷地には、県や市の保存樹も多くあります。隣接する遊歩道には大きな水車もあり、近隣住民の散歩コースとしても親しまれています。穏やかな清流の音が心地よく響き、落ち着いた雰囲気を気に入つて利用を申し込みます。お困りの方も増えています。



## さわやか 愛の家めいすい館

〒806-0054  
福岡県北九州市八幡西区西鳴水2丁目27-11  
TEL.093-644-0033  
交通アクセス



さわやか  
「さわやか室蘭館」と隣接しております。イベント等、様々な場面で協力体制が出来るので、皆様にも安心して生活して頂けると思います。入居される方はもちろん、地域の皆さんにとっても必要な施設となるよう、職員一同努めて参ります。何卒よろしくお願い致します。



↑須藤治美ホーム長

↑松崎健一AM

松崎健一エリアマネジャーよりご挨拶

「笑顔と思いや」の気持ちを常に忘れず、入居者様一人ひとりに寄り添い、馴染みの地域で安定した生活を送って頂きたいと思っております。北海道にお越しの際は「室蘭にもくればいいしょ！」是非お立ち寄り下さい。



## さわやか グループホームむろらん

〒051-0016  
北海道室蘭市幸町9番5号  
TEL.0143-24-1122  
交通アクセス

定員  
18名



## 愛の家めいすい館開所

七月一日、福岡県北九州市にて、さわやか俱楽部で三事業所目となる放課後等デイサービス事業所「さわやか愛の家めいすい館」が開所しました。ハンドイキャップを持つた子どもたちに対し、放課後や長期休暇中においての療育の場（日常生活動作の指導、集団生活への適応訓練等）を提供するとともに、放課後等の居場所、また、レスパイトケア（ご家族に代わり一時にケアを代替することで、日々の疲れ等をリフレッシュしてもらう家族支援サービス）としての役割を担つていく施設です。障がいの種別や児童の特性に合わせ、各自の可能性を引き出すための療育プログラムを各種用意しています。

建物は歴史ある茶室を改装したもので、豊かな自然に囲まれた敷地には、大きな水車もあり、近隣住民の散歩コースとしても親しまれています。穏やかな清流の音が心地よく響き、落ち着いた雰囲気を気に入つて利用を申し込みます。お困りの方も増えています。

七月一日、北海道室蘭市にさわやか俱楽部のグループホーム「さわやかグループホームむろらん」がオープンしました。2ユニットで十八名の高齢者の方が共同生活をされます。隣にはさわやか俱楽部の介護付有料老人ホーム「さわやか室蘭館」があり、室蘭で二カ所目、

JR室蘭駅、スーパー、文化センター、市役所、市立病院等が近くにあり、利便性也非常によく、通学の子どもたちの元気な声も聞こえます。地域行事への参加を通じて交流を盛んに行い、「さわやか室蘭館」の入居者様とも趣味活動等で交流していく予定です。

JR室蘭駅、スーパー、文化センター、市役所、市立病院等が近くにあり、利便性也非常によく、通学の子どもたちの元気な声も聞こえます。地域行事への参加を通じて交流を盛んに行い、「さわやか室蘭館」の入居者様とも趣味活動等で交流していく予定です。

## グループホーム むろらん開所

さわやか



## 第一回症例発表会

(栃木県那須塩原市)

# さわやかなすしおばら館



六月二十四日、栃木県那須塩原市の「さわやかなすしおばら館」では、「グループホームなすまち」と合同での症例発表会を行いました。今回の発表会は二回目で、なすしおばら館では、オムツ外しの成功事例を、なすまちではノルティックウォーカーの導入事例を発表いたしました。栃木県北の居宅介護支援事業所のケアマネジャー、地域包括支援センター、ご家族様、取引先の業者様などへ周知し、当団は十四名の方々にご参加いただきました。また、なすしおばら館へ薬を届けて下さっている薬局で実習をされている国際医療大学の学生さんにもご紹介して頂き、介護の現場を知りたいと、二名の学生さんが参加してくださいました。老人ホームで暮らす方々の生活を見ることは、病院や薬局とは違った良い経験となることだと思います。症例発表後、アンケートをご記入いただきました。頂いたご回答の一部をご紹介します。

- ・「できないではなく「出来る方法を考える」という事例紹介でした。ご入居されている方の意思、気持ちを大切にしながらも、モチベーションを上げていくための試みに、職員一人ひとりがチームで取り組んでいる姿勢が大変印象的でした。
- ・ノルティックウォーカーを初めて知りました。リハビリとして取り入れ楽しそう。今後の報告が楽しみです。

昨年九月にオープンし、着実に入居者様が増えたが、六月末頃からお問い合わせの件数が増え、毎日のように見学問い合わせが増えていきます。六月二十六日には日頃ご紹介を頂いていたアマネジャーの方が来館されました。受付で「最近、ケアプランセンターに入居の相談に来られる方に、大田原や那須塩原の老人ホームを紹介していましたが、ほとんどの方が、さわやかなすしおばら館に入居を決められています。たまたま、休みで近くまで来たので、中を見せて下さい」と言わせていました。深谷生活相談員が館内をひととおり案内してから受付に戻られてきた際には「皆さんがこちらの施設を選択される理由がよく分かりました。館内の雰囲気、職員の対応が明るく、入居されている方がとても楽しそうに生活されていますね」とお話し下さいました。

私たちが常日頃から大切にしている、理念と哲学。さわやか俱楽部のオペレーションがこのような形で評価していただけたことは本当に嬉しく思います。私たちの取り組みが、ご入居されている方々へのサービスとなり、入居者様が日々、いきいきと自分らしい生活をされ、そのご様子がご家族様、紹介者様へ伝わり、そしてクチコミが広がるという最高の循環になつた結果だと思います。一人でも多くの方々へ情報を届け、介護でお困りの方々が安心、安全に生活できるよう支援させて頂きます。(関東エリア・サブマネジャー／根岸一人)



藤井施設長



STAR  
No.101



光り輝くスタッフをご紹介!

## キラリ★一等星

相馬 利春さん 38歳

さわやか室蘭館／副施設長

twinkle!  
twinkle!



以前は、室蘭市内の特別養護老人ホームに勤めていました。5年勤めた後、あるきっかけで介護福祉士養成校に4年弱勤めました。

父の看病をきっかけに退職し、身辺が落ち着いてから介護とは全く関係のない業種に就きましたが、自分の持っている資格(介護福祉士・社会福祉主事)を有効に活用したいと思い、ハローワークでさわやか俱楽部の求人を見つけ面接を受けて入社しました。

何よりもお客様とスタッフの笑顔がエネルギーに変わります。大変なこともあります、それを乗り越えた時の喜びや充足感は、言葉に変えることが出来ません。また、今まで携わることのなかつた業務を身に付けていくことも、自身の成長に繋がると感じています。こんな不器用な私でも必要してくれるお客様、慕ってくれる仲間が居てくれます。フロアをラウンドする度に笑顔で迎えてくれるお客様を見ると、とても嬉しいです。

ある時、入居者様のご家族様より「孫娘の披露宴に出席させたいので送迎をお願い出来ませんか?」と式の前日に話があり、快く受けさせて頂きました。ご本人は家族の送迎だと迷惑が掛かるから出席しないと言っていたようです。そのお孫さんの母親は早くに他界てしまい、今回披露宴に参加された入居者様が

母親代わりでお孫さんを育ててきたそうです。終了したのは21時近くでしたが、長時間にも関わらず、最後まで楽しまれたご様子でした。そういう笑顔がエネルギーに変わります。

プライベートでは、近くの温泉に行きリフレッシュするか、読書、ドライブに行ったりします。読書は内山社長が毎月紹介してくれる推薦図書を購入しています。その中で初めて読んだのが樺沢紫苑先生の『読んだら忘れない読書術』でしたが、その本の中で「100万円持っていたら、100万円分の本を読め」とありました。自分が数年掛けて知識・経験を積むより一冊1500円を出して1~2週間で著者の知識や経験を知る事が出来れば時間を使えるという部分に共感し、時間があれば本を手にしている自分がいます。

現在は、机上での事務仕事がほとんどです。数字における理解などは不十分な点もありますが、それでも必要してくれる仲間がいることが何よりの心の支えとなっています。今後は外部関係機関と連携を図りながら、研修等を実施していきたいと思っています。知識・技術の修得もそうですが、介護という仕事に対する考え方から育成・指導していかなければならないと感じています。我が国の高齢問題におけるツケを今の子供達に残さない為にも、現場から変えていくという意識を高め、日々精進して参ります。

ウチヤマグループで働く皆さんの日報をご紹介します。

BEST

# 日報賞



瑞木 理沙さん

コロッケ俱楽部 相模原店  
神奈川県相模原市

今朝は空いていたので、清掃を徹底的に行いました。本日は夏日でしたので、スタッフ間で声を掛け合い、水分補給をこまめにし、熱中症対策をしました。体調管理もしっかりとしていくたいと思います。

受付の際、ドリンクをご注文のお客様に、氷をお入れしてもいいかの確認を自主的に行っているのですが、本日はご高齢のお客様から「体が冷えてしまうから、聞いてくれてうれしい」と喜んでいただけました。ご高齢のお客様が多い相模原店なので、今後も継続してお聞きしたいと思います。



有光 翔太さん

コロッケ俱楽部  
ハッピーバード南小倉店  
福岡県北九州市

昼の12時以降に来店されるお客様が多く、BOXランチを利用される方がとても多かったです。

8名様でお部屋に入られたお客様の中に、お誕生日の方がいらっしゃり、デザートをサービスしました。以前のメニュー用に残っていた食材があったので、お客様に「メニュー表にないデザートをお持ちします」と伝え、その食材を使ってアレンジしたデザートを提供したところ、とても喜んでくださいました。これからもお客様に喜んでもらえるように頑張っていきたいです。

産んでくれて、  
育ててくれて、ありがとう。



両親へ、感謝の  
気持ちを込めて…

向井 千春さん

グループホームたいよう  
福岡県北九州市

私は北九州市の門司で生まれ、今月で35歳となりました。ずっと両親と一緒に生活し、今も実家で暮らしています。自分の仕事に誇りを持ち、働く姿がとてもかっこよかった父は、どんなことでも器用にこなし、いざという時に本当に頼りになる人です。家族がずっと何不自由なく過ごせてこられたのは、そんな父のおかげです。

私には兄が二人います。母は、仕事熱心だった父を支えながら、どんな時でも私達のことを一番に考え育ててくれました。学生の頃は特に、厳しさを感じる時もありましたが、きちんとした生活習慣や人を思いやる優しさを身につける事ができたのは、そんな母のおかげです。

グループホームたいように入社する前は、私も母も父の会社で働いていました。両親とは職場でも家でもずっと一緒に日々です。私の友人の中には、それをマイナスにとらえる人もいましたが、私は違い、歳を重ねるにつれて、両親とこんなに長い時間一緒にいられるのはとても幸せなことだと思うようになりました。一緒にいて、両親からの愛情を常に近くで感じられる今、私も日頃から感謝の気持ちを返していこう、その時できる親孝行はその都度していこう、と思いながら日々生活をしています。

お父さん、お母さん、今後も体に気をつけてください。まだまだ心配をかけてばかりかもしれません。言葉では表せないくらい、本当に、感謝しています。

お父さん、お母さん、生んでくれて、育ててくれて、本当にありがとうございます。

## おたよりのご紹介

### さわやかさかのいち館

熊本の震災で、母を助けて頂きました。今、大分市のさかのいち館にお世話になっています。当時は、生まれて初めて経験する大震災で、私自身、身動きとれない中で、パニックに陥る母をどうすることもできず途方にくれてました。そんなとき、息子からそちらの支援のことを教えてもらい、本当にいいのだろうか?という不安を持ちながら電話をしたのを思い出します。

スタッフの方はとても気持ちよく、丁寧に素早く母を連れに来て頂き、私と母を助けてくれました。感謝しています。

あれから2度、さかのいち館に母の様子を見にいきました。少し認知もあり余震におびえながら、日に日に生気をなくし、悲壮感のかたまりだった母の顔でしたが、笑顔になっていました。震災のことも遠くになっていて、ほんとに穏やかでした。有難うございます。

さかのいち館の方たち皆さん、とてもよくして頂き、こんなにお世話になっていることが申し訳なく思いますのに「いつまで、いさせて頂けますか?」と尋ねましたら「社長の意向ですので、いつまででもどうぞいらして下さい」と、即答されました。本当に、素晴らしいと、感動しました。

私も、今度の震災は、この年齢になって初めて経験したことばかりで色々な思いがあります。本当に、困ったときに助けてくれる人がいることも実感しましたし、私が守らなければという感情も、初めて感じたものでした。

ウチヤマホールディングスの方が母を助けてくれた、その時から、私は何か私にできることをどこかでしなくては!その思いを持ってきました。先日7月1日、やっと、その思いを果たしてきました。益城町の仮設住宅の入居にあわせて、48世帯の方に、新しく造ったコーヒーカップを手渡してきました。微力です。でも、私にできる精一杯のものです。全ては、あの日、無条件に私たちを助けてくれたウチヤマホールディングスに対する感謝の気持ちからのもので、その分のお返しをどこかにしたくてやったものです。

本当に、有難うございます。一言御礼を申し上げたく、ご報告をかねて、メール致しました。写真は、そのときにもらってもらったカップです。  
(熊本県文化懇話会会員・尾崎玲子様より)





## 乱れ桜様 ご来館!!

ボランティアの乱れ桜一行様がご来館。楽しいパフォーマンスを披露してくれました。わかりやすく歌詞を書いて掲示していただきみんなで声を出して歌うことができました。「瀬戸の花嫁」の歌のときは、女性のご利用者さまにウェディングペールをかぶってもらいました。みなさま、照れながらも昔を思い出して楽しんでいらしてた様子でした。みなさま若返った1日でした。(木主 和治)



みんなのお便り集まれ~!

## さわやか だより



## 芋掘り

梅雨の晴れ間に大積館では芋掘りを行ないました。いつまでも雨が続き、なかなか収穫することが出来なかつたので、職員はジャガイモがどうなっているのかとても不安でした。

始めは女性のご利用者様が掘られました。鍬を優しく振られ、掘れなかったのですが…、2回目にはしっかりと鍬を振られ、ジャガイモが顔を出して来ました。

男性のご利用者様は、お元気に鍬を真上まで振り上げられて驚きました。さすが男性の力は凄いです。とても大きなジャガイモが出てくると、「わ~、おっきいのが採れたね」と、歓声が上がり、拍手が沸き起こりました。



収穫したお芋はすぐに蒸かして、熱々のジャガイモにバターをのせておやつに召し上がって頂くと…、「こりゃ~美味しい」と大きな口で食べられようとされるご利用者様。職員は「熱いので火傷しないように食べて下さいね」と何度もお願いしていました。

採れたてのジャガイモのお味は格別です。大積館ではしばらくの間、食事にジャガイモを使ったメニューが続きそうです。

(安宅 敬子)



## 職場体験



今回は南陵中学校の職場体験2日目の様子をお伝えします。2日目ということで活力朝礼の踊りも、見よう見まねでぱちり踊っていました。さすがに若い!覚えるのが早いです。最近の学生さんは、ダンスが授業であると聞くのでその影響もあるのかな?



リハビリの時間は、生徒さん達も随分とリラックスされて入居者様との交流を楽しんでいました。井上様も思わず生徒さんにつられて、おっはーポーズ?

入居者様も孫世代と一緒に過ごされて、活き活きされてました。南陵中学校の生徒さん、また職場体験に来て下さいね。(小林 重勝)



## 芸者ぼういづ様 来館♪



芸者ぼういづ様が来館されました。お着物に日本髪、白塗りのお化粧姿でご登場し、会場が、入居者様の拍手と笑い声で溢れておりました。一時間のライブで「愛燐燐」や「矢切の渡し」などといった名曲をたくさん披露してくださいました。すばらしい歌声に中には感動し、涙を流す入居者様もいらっしゃいました。

最後は入居者様と一緒に記念撮影会です。大変盛り上がり、入居者様に喜んでいただきました。芸者ぼういづ様ありがとうございました。またのご来館お待ちしております。(大沼 和子)



## 火の用心～ 防災の日



本日は消防訓練のもようをお伝えします。訓練の締めは消火器の使い方です。頼りになる消防士さんから入念なアドバイスをいただきました。

では、実践！火の用心の意識づけができる有意義な一日でした。これからも行事と合わせて入居者様と一緒に学べる機会を大切にしていきます。(早川 聰)



## 7月度 職員会議



昨日、職員会議が行われました。本社から山本専務が来られ、7月に誕生日を迎えるご入居者様にお祝いと花束のプレゼントがありました。山本専務からのプレゼントにご入居者様もとっても喜んで下さいました。

本日、レーカーでの取材があり、協力して下さった尾野様にも感謝状のプレゼント。16日から主任となる高崎副主任より決意表明もあり、また一段と活気あるレーカーについてこうと、力強い発言がありました。



新設したガーデニングで、入居者様が育てているお花を楽しそうに見学して下さった山本専務。入居者様方も大変喜んでましたので、また新しいレーカーを見に来て頂きたいと思います。胸ポケットのピンクはスタッフのお子さんから、帰りにプレゼントされた折り紙の傘です。ちょっとお茶目な専務でした。(小林 さおり)



## かくのだて 角館の アイスと言えば！



角館町の安藤醤油屋さんに行ってきました。「どれどれ～」と皆様、店内を見て回りました！今日のお目当ては！もちろん『醤油ソフトです！！』行った日は天気が良く、早くしないとアイスが溶けてきてしましました。『美味しい～』と入居者様、喜ばれており来て良かったです。

アイスを食べてみんなでピース。天気のいい日は、どんどん外出レクを増やしていきたいと思います。(藤村 香里)



# Message from PRESIDENT

ウチヤマグループ代表 内山 文治

## 感謝の念を忘れずに



ない教科書を買うとよ

当社グループは、多岐にわたるサービス業を展開していますが、その中でも介護部門は最も大きなセグメントに成長しています。日本は、昭和二十年八月十五日に建国以来初の敗戦を経験しました。昭和十六年生まれの私は、敗戦当時四歳で、戦後の復興を目指す日本で成長してきました。国土は焦土と化し、食べるもなさえままならない状況で、小学生の頃は、裸足で通学する子や、お弁当を持つてこられない子がたくさんいたのをよく覚えています。その後、日本は高度成長期に入りますが、当時の大人たちの努力は、現在の平和な日本人の想像を絶するものでした。

私はこの日本の成長を下支えしてくれた今の八十歳代、九十歳代の方々に「すつと感謝の気持ちを持っていて、「いつか恩返しがしたい」という思いを形にしたのが、さわやか俱楽部で手掛けていた介護事業です。介護を必要としているのに行き場のない人生の大先輩方に、入居一時金や敷金を準備しなくても入居でき、生きがいを見つけて人生の仕上げができる場所を提供したいと願つて、事業を続けてきました。今月の推薦図書として「戦争とおはぎとグリンピース」という本を紹介させて頂いていますが、この本を読むと介護事業を立ち上げた当時の使命感が蘇ってきます。この本は、戦後の西日本新聞の投稿欄「紅皿」への投稿四十編を収めたもので、時代に翻弄されながらも、懸命に生き抜いた女性たちの生の声が收められています。その内容を紹介した西日本新聞のコラムから一部抜粋します。

勤めに出て初めて月給をもらつた日、十七歳の娘は酒を一本つけて父の帰りを待つた。戦争で片腕を失った父は、好きだった酒を断ち、行商で三人の子を育ててくれた。これからは自分の給料で晚酌を楽しんだらうじ。

夫は戦死し、女手一つで八人の子どもを育てた女性。やりくりして一番末の六年生の息子を修学旅行に送り出した。息子は持たせた小遣いを使わずに戻ってきた。「僕ね、このお金でまだ買つてい

一つ一つの話に、現代では当たり前のように手に入る食べ物や仕事への感謝と生きる」とに対するエネルギーを感じます。このような生活を送りながらも、寝食を忘れて働き、日本を世界第二位の経済大国と呼ばれるまでに成長させたのが、今のご高齢者の方々です。戦後七十年以上が経過しても、大先輩への感謝の念は決して風化させではないと思っています。

七月一日に障がい児放課後等デイサービスの三施設目「さわやか愛の家めいすい館」が開所しました。放課後等デイサービスは、北九州市内も徐々に数が増えているとは言え、現状はまだまだ不足しています。愛の家に通う児童の親御さんからは、今まで他の事業所で待機をしていたけれど、一向に順番が回つてこなくて困り果てていたという声もよく聞かれます。先日「愛の家めいすい館」に通い始めた児童のお母さんに聞いた話によると、その子は以前、他社が運営する放課後等デイサービスに通つていたそうです。ある日、デイサービスから帰つてきた子供の顔に、かきむしめたような傷が目立つていたので、お母さんは利用中の状況を事業所に問い合わせました。すると職員から「そんな傷ありました?」と冷たくあしらわれて、通わせることに不安を覚えていたそうです。他の事業所を探す中で、新規に立ち上げた「愛の家めいすい館」の見学に来られたとき、職員が自傷行為をしてしまう時の声のかけ方をアドバイスしたところ、専門知識をもつていている職員がいることに安心して、すぐに利用を決めて頂きました。当社の理念をしっかりと理解してお客様の立場に立ち優しく対応してくれた職員に感謝しています。

今、業績が好調な企業の多くは社会貢献を目指している会社だと思います。目の前の利益だけを求めていく企業は、一時的に良い時期はあつても、長期間にわたって繁栄するとはできていないようです。当社の理念である「慈愛の心」「尊厳を守る」「お客様第一主義」の根底にあるものは人に對する優しさです。介護事業に限らず当社のどの部門においても、お客様のお世話をあげるのではなく、お世話をせて頂くという価値観を、全職員が改めて共有することの大切だと感じています。

### 今月のオススメ 図書



推薦本

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1 ハーバード×MBA×医師<br>目標を次々に達成する人の最強の勉強法(猪俣 武範) | 6 沈みゆく大国<br>アメリカ(逃げ切れ!日本の医療)(堀 木果) |
| 2 完本 船井幸雄の五輪の書<br>～人生の奥義、経営の極意～(船井 幸雄)      | 7 日本一心を揺るがす新聞の社説3(水谷 もりひと)         |
| 3 スティーブ・ジョブズ<br>～人生を変革する言葉～(株式会社ダイアプレス)     | 8 だいじょうぶ だいじょうぶ(いとう ひろし作・絵)        |
| 4 人生が変わる最高の教科書「論語」(小宮 一慶)                   | 9 ずっとずっとだいすきだよ(ハンス・ウイルヘルム)         |
| 5 戦争とおはぎとグリンピース(西日本新聞社)                     | 10 ぐりとぐらとくるりくら(なかがわりえこと やまわき ゆりこ)  |

# やればできる！

六月二十九日に、北九州市のステーションホテル小倉にて、ウチヤマホールディングスの第十回定時株主総会を開催しました。雨で足元の悪い中、多くの株主の方々が足を運んで下さり、当社の事業報告等を聞いて頂いた後、決議事項もすべて承認して頂きました。改めて多くの方々に支えて頂いていることに感謝しつつ、皆様の期待に応える経営を行つていかなければならぬと心を新たにしています。

平成二十四年四月十二日にジャスダック市場へ新規上場してから四年が経過し、平成二十六年九月十一日に東証一部に上場してからもうすぐ二年になります。この間に会社が大きく変化し、それに伴つて各個人も大きく成長してきたのを実感している方も多いと思います。上場した当初は、証券取引所とのやり取りや株主・投資家向けの情報公開など、不慣れな点も多かったので、周囲の様々な方にサポートをして頂きながら、知識を身につけてきました。おかげで少しずつノウハウも構築することができ、今年の株主総会においても、事前の準備から当日の運営まで、非常にスムーズに進めることができました。しっかりと対応してくれた、総務部を中心とする管理部門の社員や、協力して下さった顧問弁護士の住田先生、社外取締役、社外監査役の方々に心から感謝しています。

先月の会議でもお伝えした通り、ウチヤマホールディングスが公表している中長期計画の中で、売上高一〇〇〇億円、利益一〇〇億円と言う大きな目標数字を掲げています。実現のために、既存の事業の拡大に加えて、M&Aの推進や、新規事業への取り組みなど、新しいことにも挑戦していかなければなりません。ただし、数字ありきで売上・利益を優先に考えるのではなく、社会に必要とされていることを見極めて、企業として社会貢献できる活動を地道に続けていくことが大切です。現在さわやか俱楽部の介護施設で取り組んでいる「産学官連携事業」も、民間

企業による新たなチャレンジとして社外から注目を集めています。これまで提供してきたサービスに対する付加価値を生み、多くのお客様に喜んで頂くことが、結果として売上や利益といった評価で返つてくると考えています。

思えば、平成五年に不動産バブルが崩壊した頃は、多くの人から「内山ビルは倒産する」と噂されていました。そんな時でもカラオケ事業で利益が出ていたので、私は周囲に向かって「いつかカラオケで株式上場する」と言い続けていました。資金を借りに行つた金融機関からはほとんど相手にもされませんでしたが、幹部社員はその言葉を信じて、ついて来てくれました。その後、カラオケ・飲食事業が順調に伸び、新たに手掛けた介護事業が軌道に乗つてくれると、少しずつ周囲の私たちを見る目が変わってきたのを感じるようになりました。以前は毎日のように銀行に足を運んで、「お金を貸してほしい」と頭を下げても断られていたのが、やがて銀行の方から支店長が本社にわざわざ足を運んでくれ、融資を勧めて頂けるようになりました。

実際に株式上場の準備に入つた際は、多くの社員が半信半疑だったと、後になつてある幹部社員から聞きました。しかし、私は真剣そのものでした。次第にその熱意が伝わったのか、管理部門を中心に少しずつ上場にチャレンジしようというムードが広がり、皆で勉強しながら成長していました。そうして厳しい上場審査を乗り越えようと、社員が一丸となつて一つの目標に向けて努力した結果、二年前に東証一部上場を果たすことができたのです。

今、仕事で壁に突き当たっている人もいるかもしれません。しかし、どんなに高い目標や大きな夢も、努力を続けていけば、いつかきっと叶う日が来ます。上司に新しい課題を与えられた時も、やつてみる前から自分で自分の能力に見切りをつけ、これはできないと思つていては、それ以上の成長はありません。せつかく与えられた成長のチャンスを活かせず、本来持つている能力を出せないまま持て余している人を見るたびに、本当にもつたいないなと思います。会社が成長し、信用も高まつている現在は、過去に先輩たちがやりたくても出来なかつたことにチャレンジできる、恵まれた環境にあります。皆さんのお自己実現と目標の達成、さらに財産の形成にも、この会社という舞台を役立てほしいのです。そして社員の皆さん方が豊かで実り多い人生を歩んでくれることが、私にとっての何よりの喜びです。



# 手に汗握る熱戦! 第一回将棋大会

さわやか  
清田館



↑左から佐藤様と山本専務

## 優勝 佐藤 哲夫 様[75歳] さわやか福ふく館入居

今回、将棋大会に参加して優勝することができて、とても嬉しいです。賞状を頂いてとても感激しています。次回の開催も楽しみにしています。ありがとうございます。



↑岩崎様

## 準優勝 岩崎 豊明 様[86歳] さわやか大畠壱番館入居

このたび図らずも、さわやか清田館の将棋大会に招かれ、また運にも恵まれて、人生初めて2位という高いところまで上げてもらって、この上ない心からの喜びを頂いて帰路につきました。ありがとうございます。



7月3日、福岡県北九州市にある「さわやか清田館」で、第一回将棋大会が開催されました。さわやか倶楽部の施設間や地域の方々との交流を深め、また入居者様、利用者様の生きがいづくりの支援を行うことを目指して、清田館住宅型の宇津巻生活相談員と、デイサービスの久松職員の発案にて企画されました。参加者は、さわやか倶楽部の4施設(清田館・大畠壱番館・大畠参番館・福ふく館)から入居者様、利用者様が22名、さらに地域の方が6名、職員が4名、総勢32名のトーナメント制で実施されました。

将棋大会の告知は、地域の掲示板にも取り上げて頂き、また表彰状も地域の方が手書きで作成して下さいました。地域と一緒に運営を行えたことで、開催後は地域の方々が以前に増して清田館に多く来館されています。(宇津巻 進)

## アサノパティオビアホール2016

**飲み放題 食べ放題 時間無制限!!**

**最大100名様までご予約OK! 17:00~22:00**

**大人 男性 ¥3,980 大人 女性 ¥3,280**

高・中学生 ¥2,500 | 小学生 ¥1,500 | 幼児 ¥800(3才以下無料)

※お1人様税込価格

**ピュッフェスタイルの食べ飲み放題(約40種)**

月水金	火木土日
<b>ステーキ</b> 食べ放題	<b>ずわい蟹</b> 食べ放題

ピアホールご利用のお客様は  
カラオケご利用【1h】**700円(税込)**にて  
飲み放題付でご利用いただけます!

Beer Rest & Karaoke  
**アサノパティオ** TEL 093-533-1888  
北九州市小倉北区浅野3丁目3-28



## 木塚 千愛理さん&健太さん

(旧姓・関)

この度、結婚致しました。たくさんの方々に支えられ、感謝の気持ちでいっぱいです。笑顔・思いやりのあふれる家庭を築いていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

さわやか清田館デイサービスセンター  
相談員・木塚 千愛理



二部 剛志さん&栄美さん

5月26日に結婚いたしました。妻は高校三年生の時の同級生です。今年でお互い30歳になりました。30歳になる前には結婚したいと考えていました。ギリギリではありましたがあくまで実現して本当に嬉しく思います。同僚、上司からもお祝いのお言葉を頂き、感謝の連続です。守るものができました。より一層仕事に対して真剣に向き合い、感謝の気持ちを忘れずに生活します。仕事、プライベートをしっかり両立させ、健康で面白い旦那になります。

さわやか桜式番館／介護リーダー・二部 剛志



～我が家のお姫様～  
**Welcome, Little Princess!**



阿南 紗菜ちゃん  
平成28年6月21日生まれ

一番最初に出た言葉は、はっきりと覚えていています。嫁さんに「ありがとう」の言葉でした。感謝の気持ちを忘れずに、子育ても仕事も頑張っていきます。

●ゆなちゃんのパパ  
かんてきや都町店／料理長・阿南 望

# さわやか 相談室

一人で悩まない!  
あなたのお悩み  
話してみませんか?



お気軽にどんなことでもご相談下さい。お電話、メールお待ちしております!

電話番号

メール

**090-9497-5764**

sawayakasoudan@softbank.ne.jp